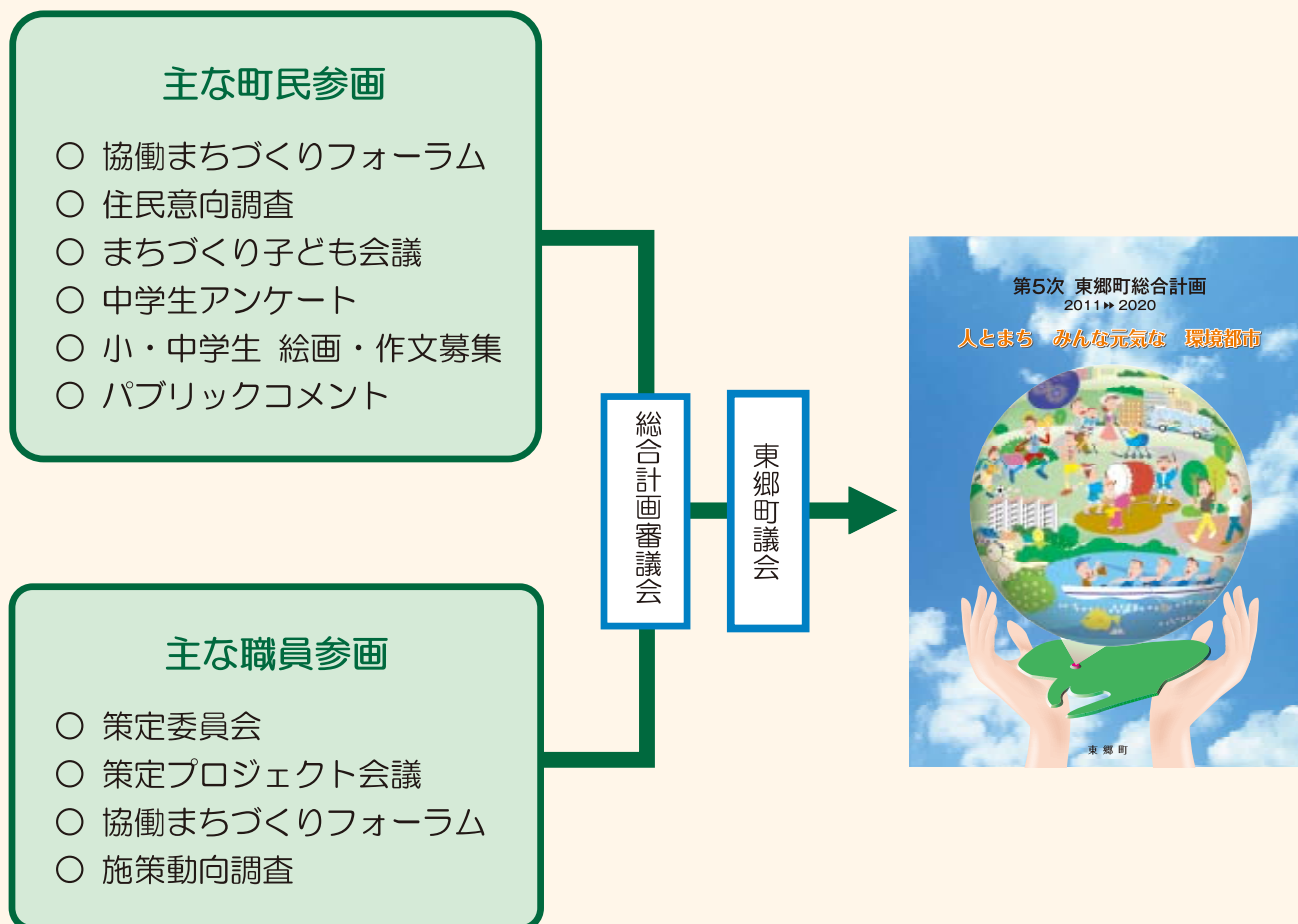


総合計画ができるまで

第5次東郷町総合計画は、計画の策定に当たり、より多くの町民の皆さんと協働で計画づくりを進めるため、「協働まちづくりフォーラム」や中学生を対象とした「まちづくり子ども会議」、各種アンケート調査などを行いました。加えて、小・中学生を対象にアンケートや絵画・作文募集を行うことで子どもたちが抱く将来の東郷町への思いを把握しました。

また、基本構想検討部会や策定プロジェクト会議といった庁内会議だけでなく、町職員も協働まちづくりフォーラムに直接参加するなど、多くの町職員が主体的に策定作業に関わりました。



協働まちづくりフォーラム

公募町民、区・自治会推薦、各種団体推薦、町職員で構成し、町民と行政が協働で取り組む『これからの東郷のまちづくり』について検討しました。

ワークショップ形式で行ったグループワークでは、4つのテーマ（テーマ別会議）、及び小学校区単位のグループ（地域別会議）をつくり、東郷町の現状や課題を整理し、今後重点的に取り組むべき施策や町民と行政が協働で取り組むべき施策を検討し、「提案書」としてまとめ、町に提案しました。

テーマ

- 「移動の確保、公共交通の充実・道路網の整備」
- 「協働のしくみづくり、税収の確保、広域連携」
- 「良好な自然環境、農地の保全・活用」
- 「福祉の充実」



まちづくり子ども会議

東郷町の未来を担う中学生を対象として、東郷町の中学校に通う中学2年生 30名で「まちづくり子ども会議」を開催しました。

会議では、中学生の皆さんが日ごろから感じていることや考えていることなどについて話し合い、東郷のまちの“良いところ”や“悪いところ”を見つけ出し、これからの東郷町をもっと良くしていくための「未来の東郷町」に向けた取り組みを提案しました。

テーマ

- 「子どもやお年寄りにも優しいまちづくり」
- 「自然と親しむまちづくり」
- 「快適で活気あふれるまちづくり」
- 「にぎわいと交流によるまちづくり」

